

北海道では、地名の約 8 割がアイヌ語に由来しています。アイヌ語地名は、アイヌの人たちが必要に応じて付けたもので、生活に役立つ素材や食材が採れる場所、地形の特徴を示しており、名づけた当時の人たちの生活が反映された、歴史的にも重要な文化財といえます。

洞爺湖有珠山ジオパーク内にもたくさんのアイヌ語地名がありますが、噴火によって地形が変わったり、漢字で表記されたために、もともとの意味がわからなくなってしまったものも少なくありません。

洞爺湖有珠山ジオパークの中のアイヌ語地名と、普段見ている地形の関係、また暮らしの中で受け継がれるアイヌ文化について学ぶ講座を開催します。興味のある方はぜひご参加ください。

## ジオパーク・パートナー講座 **「アイヌ語地名とアイヌの伝承」**



豊浦町の海岸では、大昔の火山活動を示す岩がたくさん見られます。そのひとつひとつに、名前が付けられていたそう。

**日 時** 平成 30 年 2 月 18 日 (日) 10 時～12 時  
**場 所** 豊浦町中央公民館 (豊浦町船見町 95 番地)  
**講 師** 北海道博物館研究職員 遠藤 志保 さん  
豊浦アイヌ協会会長 宇治 義之 さん

入場無料、予約不要

先着 50 人にジオパーク絵本『11 万年のうえの一日』をプレゼント！

期間延長しました！抽選で当たる！

## 洞爺湖町 オリジナルエコバックで「大地の物語」を PR！

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっと宣伝したい！という思いから生まれた洞爺湖町オリジナルエコバック「大地のポケット」に、新たに 3 つの図柄が加わりました。国の地方創生加速化交付金事業の採択を受けて実現したもので、山陰海岸ジオパークである兵庫県豊岡市の鞆専門店で作られたバックです。

このオリジナルエコバック (3 種類のいずれか 1 枚) を**抽選で 6 人の方**にプレゼントします。ぜひ、このバックを持ち歩いて「世界ジオパークの町」の宣伝役になってください！

希望する方は、はがきかファクス、もしくは E メールで、下記内容をご記入のうえご応募ください。

1 月分の締切は 1 月 29 日の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※一度当選された方は対象となりませんのでご注意ください。



バックの図柄は絵本『11 万年のうえの一日』から「小幌海岸」「リンゴ畑」「洞爺湖温泉」の 3 種類。\*図柄の指定はできません  
前回のジオクイズの答え:「63 カ国」でした！

1. 応募者の名前
2. 連絡先電話番号
3. 届け先の住所 (洞爺湖町内に限ります)
4. ジオクイズの答え

<ジオクイズ>

北海道の地名の約何割がアイヌ語由来の地名といわれているでしょう？

※答えはこのジオパーク通信内にあります。よ〜く読んで答えてね。

～ 応募先 ～ 〒 049-5692

洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファクスは Fax 76-4727 まで

※Eメールは info@toya-usu-geopark.org まで